

# 大牟田市立倉永小学校

## 1 本校のESDの特徴

倉永小学校区は、豊かな自然に恵まれ、福祉施設や歴史的な文化財、伝統工芸等、文化施設が数多く存在している。地域のつながりが強く公民館活動も盛んである。他の地域に比べて三世帯同居が多く、教育に関しても熱心である。

本校は「家庭や地域の人々とともに児童を育てる」を学校理念として、ESDを児童が家庭や地域とのつながりを深め、未来の日本社会や郷土を支える力を育む教育活動と捉え、ESDの実践を通して、友達や地域の人々と協働して課題解決を図る力の育成を目標としている。

具体的には、総合的な学習の時間を柱として各教科と関連させて取り組み、①「福祉ボランティア」に関わる学習や学校行事、②「読書活動」に関わる活動を行っている。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- |                                      |                   |             |             |
|--------------------------------------|-------------------|-------------|-------------|
| (1) 1年生「みんなみんな大好きだよ」(福祉・ボランティア)      | (生活科)             | 9月～10月      | 10時間        |
| (2) 2年生「レッツゴー!町たんけん」(環境)             | (生活科)             | 4月～5月       | 12時間        |
| (3) 3年生「ワクワクドキドキお話探偵団」(読書活動)         |                   |             |             |
|                                      | (総合的な学習の時間)       | 9月～3月       | 49時間        |
| (4) 4年生「日本の文化に親しもう」(国際理解, 福祉・ボランティア) |                   |             |             |
|                                      | (総合的な学習の時間)       | 11月～3月      | 22時間        |
|                                      | 「夢に向かって」(キャリア教育)  | (総合的な学習の時間) | 9月～10月 13時間 |
| (5) 5年生「倉永ふるさと再発見」(福祉・ボランティア)        |                   |             |             |
|                                      | (総合的な学習の時間)       | 9月～12月      | 23時間        |
| (6) 6年生「倉永スマイルプロジェクト」(福祉・ボランティア)     |                   |             |             |
|                                      | (総合的な学習の時間)       | 4月～7月       | 24時間        |
|                                      | 「未来に向かって」(キャリア教育) | (総合的な学習の時間) | 1月～3月 23時間  |

## 3 特徴的な活動事例

< 4年生「日本の文化に親しもう」(国際理解, 福祉・ボランティア 22時間) >

### (1) 学習の流れ

- ①音楽「世界の音楽めぐり」の学習から課題をつくり、学習計画を立てる。
- ②自他の文化について調べる。
- ③GTを招き、地域の人達の協力を得て門松づくりを体験する。作った門松を社会福祉協議会とともに校区の高齢者施設に持っていき、門松の由来を話し、門松を渡す。
- ④学習発表会で和太鼓を演奏し、日本文化のよさを発信する。
- ⑤学習して学んだことをテーマごとにグループに分かれ、新聞にまとめる。

### (2) 子ども達の様子

#### 【門松づくりの取組】

門松づくりの当日は、朝から学校の広場にたくさんの孟宗竹、真竹、南天、松、松ぼっくりが運ばれた。地域の方達から準備をして頂いたため、2時間で100個もの門松ができあがった。

その後7つのグループに分かれ、地域の方達とできあがった門松を



校区にある施設に届けた。各施設で児童は門松の由来や地域の方達の支援で門松を作ったこと、門松を飾って新年を迎えて欲しいということ传达了。施設の方達の中には涙を流して喜び、それを見た子ども達は自分達が人のために活動する喜びや充実感を味わった。

また、冬休みに学校長・担任とともに代表児童2人が大牟田市役所を訪問し、市長と教育長に門松を寄贈した。



< 3年生「ワクワクドキドキお話探偵団」(読書活動49時間) >

#### (1) 学習の流れ

- ①読み聞かせをしてもらった体験を振り返り、いろいろな絵本に対する興味・関心を高める。
- ②ペアの相手を変えながら自分の読み聞かせを試し、工夫していく。
- ③お話会を実践して活動を振り返り、自己の成長を実感する。



#### (2) 子ども達の様子

子ども達に来学年児さんとの交流会があることを教え、読み聞かせをして楽しませようという意欲を持たせた。はじめは、同学年の友達とペアを組み、選書をし、読み聞かせをし合った。本の持ち方や声の大きさ、速さなどに気をつけるとよいことが分かってきた。



また、声の明るさや間のとり方、相手に合った選書など、練習(アドバイスをし合う)ごとに、よりよい読み聞かせをするための気づきが出てきた。



その後、2学期には1年生を相手に読み聞かせを行い、1月21日には来学年児との交流会を行った。読み聞かせをすると、相手が笑ってくれたり、「面白いね。」等の反応を返してくれたりして子ども達はとてもうれしかったようだ。

子ども達の振り返りには、「喜んでくれたから、読み聞かせは成功したと思いました」「頑張って練習をしてよかった」「自分の弟(妹)にもしてあげたい」「大人になったら、自分の子どもにも本を読んであげたい」という感想があった。来学年児や保護者が読み聞かせが終わった後、笑顔で「ありがとう。」と感謝されたことは今後の自信にもつながったと思う。

## 4 本年度の成果と課題

### ○成果

- ・地域の方々と門松を作る活動を通して、協働する楽しさを味わわせることができた。
- ・自分達が作った門松を高齢者施設に入所している方々に贈ることで、自分達の力で多くの方々を喜ばせることができることを実感させることができた。

### ○課題

- ・豊かな自然に恵まれ、福祉施設や歴史的な文化財、伝統工芸等が数多くあること。地域のつながりが強く公民館活動が盛んであるという利点を踏まえ、特色のあるESDを計画する必要がある。
- ・ESDの充実を図り、児童に協力する態度やつながりを尊重する態度を育成していくことがこれからの教育には大切であることを全職員が共通理解をする。
- ・地域・保護者との連携をさらに深め、中学校のESDの取り組みとのつながりも考え、系統的に学習できるように中学校と連携していくこと。